

環境負荷低減

# 地球環境憲章に基づいて 環境保全活動を展開しています



## 地球環境憲章

カワイグループは、素晴らしい地球環境を後世に伝えるためには、総合的かつ継続的な取り組みが必要であると認識しています。世界の良き企業市民として環境の保全に努めつつ、人と地球にやさしい優れた商品を通じて社会からの信頼と共感を得ることができる道を進むために「地球環境憲章」を1994年に制定しました。

## 地球と人にやさしい企業をめざして

### 基本理念

『感動製造業』をモットーとする私たちは、地球市民の一員として環境と資源を守ると共に、真に豊かな心と社会の実現に尽くします。また、グローバルな視野に立って地球環境にやさしい企業を目指します。

豊かな人間性や快適な生活環境の創造を  
優れた研究、優れた技術、優れた商品の創造を  
環境に優しい生産・流通・販売活動の創造を

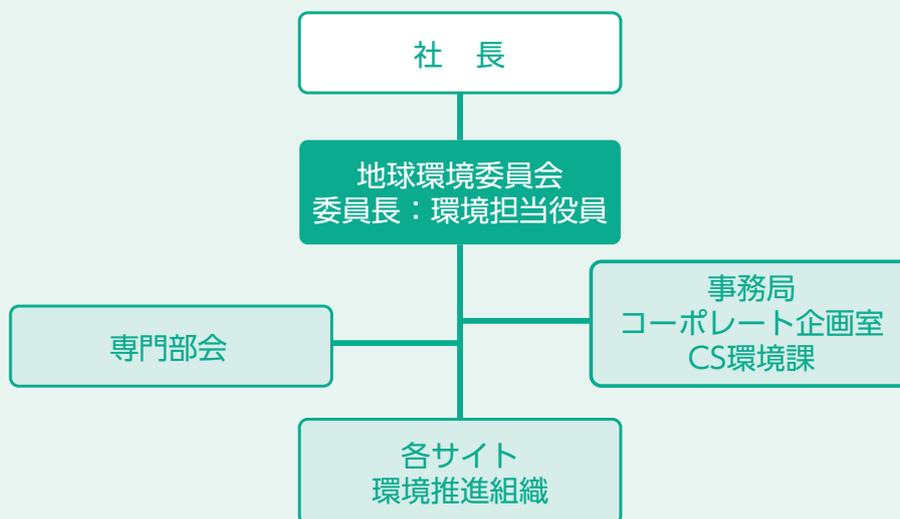
### 行動指針

1. 音楽文化産業として、各々の事業分野で人と音との良好な関係を築いていきます。
2. 様々な場面で、環境への影響を科学的な方法により評価し、必要な対応策を実施することにより、環境の保全と人の健康を守ります。
3. 資源の有効活用と省エネルギーの推進を図ります。
4. 製品の研究開発・設計段階からリサイクルと廃棄物発生量の減少を目指します。
5. 環境の保全活動に関し、国内外の要請に応え、地域との共生を目指して積極的に参画し、保護対策を実施します。

## 環境推進組織

環境経営を推進する組織として、1994年に環境担当役員を委員長とする地球環境委員会を設置し、環境保全に関する全社環境方針や目標を設定し活動しています。

また、専門部会を隔月で開催し、各サイトにおける環境目標に対する経過報告や、取り組みの情報交換を実施しています。



# 環境管理レベルの向上に取り組んでいます

## 環境方針

カワイ地球環境委員会では「地球環境憲章」を受け「環境方針」を制定しています。  
《有益な環境側面の発掘》《地球温暖化防止》《資源循環活用》《資源有効活用》《グリーン調達》等の推進に全社一丸となって邁進しています。

私たちは、楽器製造をはじめとする様々な事業の中で、環境への影響を配慮した活動を行い、地球環境の保全に向けた継続的な改善と汚染の予防に努めます。

- 環境マネジメントシステムにより、環境負荷の低減や有益な環境側面を発掘し推進することを目標に設定するとともに、社会の期待や大きさに応じた定期的な見直しを実施します。
  - 社会の期待と環境負荷に配慮した「製品、サービスの提供」「技術の開発」に努めます。
  - 開発、生産、流通、販売、サービスなどの各部門において「地球温暖化防止」「資源循環活用」「資源有効活用」に努めます。
- 必要な資源の調達・購入に際しては、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入します。(グリーン調達)
- 環境に関連する法規制を遵守するとともに、その他の要求事項を考慮して自主的な基準を設け、環境管理レベルの向上に努めます。
- 環境教育を通じ、全社員の意識向上を図るとともに、一人ひとりが広く社会に目を向け、日常業務や日常生活の中で自主的な貢献活動ができるよう啓蒙と支援を行います。
- この環境方針を達成するため、環境管理担当役員を総括責任者とした環境管理の組織、運営制度を整備し、目標・計画・施策・責任を明確にして環境保全活動を展開します。

## 環境マネジメントシステム

カワイグループでは環境マネジメントシステム ISO14001 の導入を推進しています。現在、国内では竜洋工場、(株)カワイハイパーウッド、カワイ精密金属(株)が認証を取得し、(株)カワイ音響システムは、自己適合宣言を行っています。海外では PT. カワイインドネシア第1・第2・第3工場、上海カワイ電子有限公司、河合楽器(寧波)有限公司が認証を取得しています。

これらの事業所では環境マネジメントシステムで要求されている継続的改善のPDCAサイクル(計画・実行・検証・対応の繰り返し)をまわすため定期的に内部監査を実施し、進行状況や是正事項の確認を行っています。

また、認証取得事業所では、外部の認証機関による毎年のサーベランス審査及び定期の更新審査において、環境マネジメントシステムが有効に機能していることの審査を受けています。

今後も、より一層の環境負荷削減のため、グループ全体への環境マネジメントシステムの導入に取り組んでまいります。



環境マネジメントシステム導入拠点一覧

導入年	導入拠点
1997年	竜洋工場 (ISO14001 認証取得)
2011年	PT. カワイインドネシア第1・第2工場 (ISO14001 認証取得)
2012年	河合楽器(寧波)有限公司 (ISO14001 認証取得)
2015年	カワイ精密金属(株) (ISO14001 認証取得)
2016年	(株)カワイハイパーウッド (ISO14001 認証取得)
2017年	(株)カワイ音響システム (ISO14001 自己適合宣言) PT. カワイインドネシア第3工場 (ISO14001 認証取得)
2020年	上海カワイ電子有限公司 (ISO14001 認証取得)

環境負荷低減

# より環境負荷の少ない 原材料・資源の調達を推進しています



## グリーン調達ガイドライン

カワイグループでは必要な資源の調達・購入に際して、カワイ地球環境委員会の定める「環境方針」に基づき、より環境負荷の少ない材料・部品・製品を優先的に調達・購入するグリーン調達にグループ全体で積極的に取り組んでいます。

グリーン購入法やグリーン購入ネットワーク (GPN) の基本原則に準じたグリーン調達を推進し、環境負荷を総合的に低減することで、生物多様性の保全や循環型社会構築に積極的かつ継続的に貢献するよう活動しています。

### 基本方針

1. 調達の必要性を十分に考慮し、
2. 品質や価格に加え環境に配慮し環境負荷ができるだけ少ない製品やサービスを、
3. 環境負荷の低減に努める事業者から優先的に調達する。

### 適用範囲

- 事務所用品、部品、原材料、設備などカワイグループが調達する全ての物品・サービス。
- ・ 事務所等で使用する一般品 (用紙、文具、コンピュータ等機器類、作業着、印刷物等)
  - ・ カワイ製品 (OEM 含む) に用いる部品・原材料 (梱包材、付属品等を含む)
  - ・ サービス等 (通信、その他の役務)

調達基準として、法律、関連団体の基準、社内基準を遵守することはもちろん、天然資源への配慮から省資源、省エネルギー、処分やリサイクルまであらゆる段階での環境配慮がされていることが規定されています。

サプライヤー選定時にも環境に対する管理状況や省資源・省エネルギーへの取り組み、環境情報の公開状況などの配慮事項を定めて、購買部門よりお取引先様に対応をお願いしています。

▶カワイ グリーン調達ガイドライン

[https://www2.kawai.co.jp/company/activity/pdf/kg\\_20040130.pdf](https://www2.kawai.co.jp/company/activity/pdf/kg_20040130.pdf)



## 木材調達ガイドライン

ピアノ等楽器の製造において木材は重要な原材料であることを認識しています。持続可能な資源である木材の調達におけるカワイのポリシーを明文化しました。

### 基本理念

カワイは、木を大切に、保護・育成された森からの持続可能な資源である木材を、有効活用する、木材のグリーン調達を推進する。

### 基本方針

1. カワイは、持続可能な森林経営が営まれている森林から産出された木材を優先して調達する。
2. カワイは、木材調達において、森林を保全・保護・再生するという環境対策の推進や遵法に配慮する。
3. カワイは、調達した木材の適切かつ効率的な利用を推進する。
4. カワイは、再生材で生産された製品を優先して調達する。
5. カワイは、森林認証林産物等を優先して調達する。

# 環境負荷低減の取り組みを推進しています

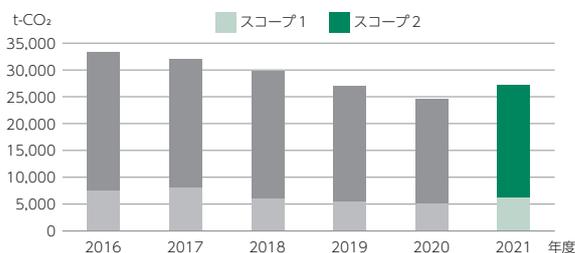


## GHG プロトコルに基づく温室効果ガス排出量算定

カワイでは、従来より国内および海外の CO<sub>2</sub> 排出量の数値を算定・公表してきました。

本年度より GHG プロトコルに基づくスコープ別温室効果ガス排出量 (GHG 排出量) の把握も行っています。これに伴い過去の排出量についても同様の方法で改めて算定しています。

算定範囲は、国内事業所および海外生産系事業所であり、グループ全体の総排出量の 95% 以上をカバーしています。



## 省エネ法への対応と環境負荷低減の取り組み

省エネ法 (エネルギー使用の合理化等に関する法律) は、一定以上のエネルギーを使用している会社 (特定事業者) にエネルギー使用の合理化を求めています。

カワイグループでは (株) 河合楽器製作所、カワイ精密金属 (株)、(株) カワイキャスティングが特定事業者に、竜洋工場、カワイ精密金属 (株) 本社・浜松工場、(株) カワイキャスティングの 3 工場が第二種エネルギー管理指定工場に指定されています。

2022 年度は、(株) 河合楽器製作所が 7 年連続、カワイ精密金属 (株) は 3 年連続で、省エネ法の事業者クラス分け評価制度にもとづく優良事業者の S クラス\* の評価を受けています。

また、地球環境委員会では、「省エネ法への対応」「地球温暖化の防止」や「資源循環と資源の有効活用」を目的とし、国内の CO<sub>2</sub> 排出量と廃棄物排出量について売上高原単位の削減に取り組んできました。2022 年度からの 3 ヶ年は、2021 年度を基準年として毎年 1% 削減することを目標値と定め取り組んでいます。

2022 年度の実績は、CO<sub>2</sub> 排出量原単位が 2021 年度比 8.2% 減少となり目標を達成、廃棄物排出量原単位は生産量増加に伴い 1.7% の増加となり目標未達となりました。

\* エネルギー消費の 5 年間平均原単位を年 1% 以上削減する努力目標を達成した事業者

指標	年度	2018	2019	2020	2021 (基準年)	2022	増減	評価
CO <sub>2</sub> 排出量原単位 (kg-CO <sub>2</sub> / 百万円)		331.1	305.7	294.6	255.2	234.2	- 8.2%	◎
廃棄物排出量原単位 (kg/ 百万円)		28.4	26.2	25.0	23.4	23.8	1.7%	×
エネルギー量原単位 (MJ/ 百万円) *参考値		5,890.9	5,654.6	5,635.7	4,907.3	4,477.4	- 8.8%	-

評価 ◎: 達成 ×: 未達成

## 地球温暖化防止の取り組み

カワイグループでは地球温暖化防止の取り組みを環境経営の重点項目と位置づけ、省エネルギー施策を実施することによって、エネルギー使用による CO<sub>2</sub> 排出量の削減を推進しています。

- 省エネルギーに配慮した工場設備の導入
- LED 照明への更新
- 再生可能エネルギーの導入
- 電力会社と共同の定期的な省エネ診断の実施
- オフィスでの「クールビズ」「ウォームビズ」運動の実施

### 太陽光発電設備の導入

2022 年 12 月より、グランドピアノ・アップライトピアノの製造工場である竜洋工場に太陽光発電設備を導入しました。

導入した太陽光発電設備の稼働による年間発電量は約 781MWh で、竜洋工場の消費電力の約 18% がまかなわれます。これにより、CO<sub>2</sub> 排出量は年間約 245t 削減される見込みです。



太陽光発電設備を導入した竜洋工場

▶ 当社の竜洋工場に太陽光発電設備を導入 (ニュースリリース)  
<https://www.kawai.co.jp/news/20221223/>

